

## ⑮【新潟県厚生農業協同組合連合会 糸魚川総合病院】

住 所	〒941-8502 新潟県糸魚川市大字竹ヶ花457-1		病床数：261床
診療科目	内科（循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内分泌内科、神経内科）・小児科・外科・脳神経外科・産婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・精神科・麻酔科・心臓血管外科・呼吸器外科・消化器外科・救急科・リハビリテーション科・放射線科・歯科		
研修責任者名	山岸 文範（病院長）	連絡先：somu4@itoigawa-hp.jp 025-552-0280（代表）	連絡先担当者名：渡部 利和（総務課）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：0人、24年度：0人、25年度：0人、26年度：0人、27年度：0人、28年度：0人、29年度：0人、30年度：2人、令和元年度：2人、2年度：0人、3年度：0人、4年度：0人、5年度：0人 ・その他プログラム採用 平成23年度：6人、24年度：4人、25年度：7人、26年度：12人、27年度：12人、28年度：8人、29年度：9人、30年度：10人、令和元年度：4人、2年度：2人、3年度：4人、4年度：6人、5年度：6人		
研修受け入れ可能診療科※		学会認定専門医数	学会認定指導医数
必修：内科（循環器、消化器、腎臓）、救急、外科（消化器外科）、小児科、麻酔科 選択研修：整形外科、脳神経外科、眼科		総合内科専門医 4人、消化器病学会専門医 4人、肝臓学会専門医 2人、消化器内視鏡学会専門医 2人、循環器学会専門医 1人、外科学会専門医 3人、消化器外科学会専門医 2人、麻酔科学会専門医 2人、整形外科学会専門医 2人、眼科学会専門医 1人、小児科学会専門医 1人、脳神経外科学会専門医 1人	総合内科指導医 2人、循環器指導医 1人、消化器病学会指導医 2人、肝臓学会指導医 2人、外科学会指導医 2人、肝臓膵高度技能指導医 1人、麻酔科学会指導医 1人、消化器外科学会指導医 2人、膵臓学会認定指導医 1人、日本胆道学会認定指導医 1人
施設の概説・特徴			
病床数261床。糸魚川地域の唯一の中核病院としてすべての疾患を対象に診療を行っている。糸魚川市の90%以上の救急患者（救急車1,900台/年）を引き受けており、平成25年度には救急棟を新設。また災害拠点病院として毎年消防と合同でのトリアージ訓練を行っている。研修では、ERで初患者にファーストタッチすることにより診断推論と基本的治療技術の習得が強化されている。経験症例の振り返りのためにER検討会・勉強会が週3回開催されている。外国人を含めた著名な院外指導医によるクリニカルカンファレンスやERでの直接の診療指導は糸魚川総合病院の研修の特徴であり、平均して月に4回開催されている。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
内科：内科は常時110床以上占めている。（循環器系・消化器系・腎尿路系・代謝系総合診療）血液系・心療内科の非常勤医も勤務している。全領域に亘る研修が可能である。研修目標はプライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度・技能・知識）を身につけることにおいており、1人の指導医の下で各領域の研修を行う。 外科：救急も含め一般消化器外科疾患を対象としている。特に肝胆膵および結腸、直腸領域において高い専門性を持った手術を行っている。到達目標は必要な検査・処置を立案し、術前診断を下し、術式を選ぶこと、手術関連手技の修得、全身麻酔手術時の周術期全身管理能力を修得する。手術症例年間330例程。 小児科：地域唯一の小児科開設病院として、救急患児をはじめ急性疾患患児から慢性疾患患児までを扱っており、新生児診療や地域保険活動も含め、広範囲の研修ができる。 麻酔科：日本麻酔学会認定病院であり、同学会指導医による麻酔に関する事項に関して指導を受ける。 整形外科：日本整形外科学会研修施設である。常勤医は3人であり、同学会専門医により整形外科疾患に関して指導を受ける。 脳外科：脳卒中を始めとした神経疾患の指導を受ける。			
研修医の当直			
当直2回・日直1回/月 研修医は、救急・夜間のファーストタッチを行うことを原則としています。同時に日中のER研修もdutyとして行われ、年間で750例の経験・記録を行っていただきます。			
処 遇			
●給与：1年次（基本給350,000円＋当直手当19,400円/回＋時間外手当 厚生連規程により支給） 2年次（基本給380,000円＋当直手当19,400円/回＋時間外手当 厚生連規程により支給） ●食事：院内食堂 外食可能 外注弁当等 ●宿舍：宿舍借り上げあり（単身用）住居補助として50,000円まで支給。 ●外部の研修活動：学会研究会への参加可（当院での勤務6ヶ月経過後より、参加費、出張費含めて研修費として個人枠あり） ●図書：医局図書、文献検索可能（クリニカルキー・Up To Date、メディカルオンライン、医中誌） ●インターネット環境：個人利用可能、Wifi			

※「必修」で掲載されている診療科は、「選択研修」でも研修可能です。